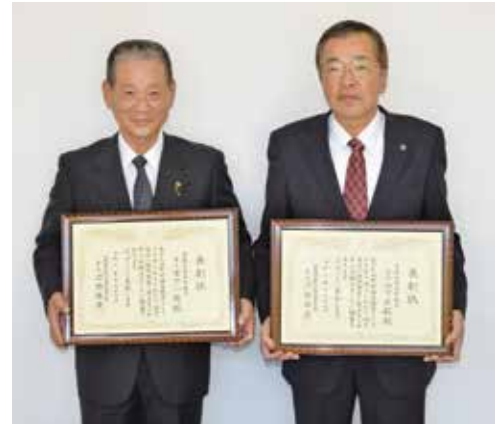


## 四国地区町村議会議長会表彰

議会議員として20年にわたり地方自治の振興発展に寄与した功績が評価され、愛南町議会の山下正敏議員と宮下一郎議員に表彰状

多年にわたり議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が評価され、愛南町議会の山下正敏議員と宮下一郎議員が、令和2年10月13日付けで四国地区町村議会議長会から表彰を受けました。

▶表彰を受けた山下正敏議員(右)と宮下一郎議員



## 令和2年秋の叙勲 航海訓練所の操機長として後進育成に寄与した山本照彦さんが瑞宝単光章を受章



▲瑞宝単光章を受章した山本照彦さん

航海訓練所の操機長として、後進の育成に努めてきたことが評価され、令和2年11月3日付けで山本照彦さん(御荘平城)が瑞宝単光章を受章しました。

山本さんは、昭和59年4月から令和2年3月までの36年間、独立行政法人海技教育機構に勤務しました。

帆船の操機長として商船高校や海技学校の学生を連れて、アメリカ合衆国のハワイ諸島やアメリカ本土に航海をしました。

その航海の中で、学生に帆船の部品の修理の仕方やエンジンなどのメンテナンス作業について教え、学生がけがをせず、安全な航海ができるように訓練・指導してきたことが認められ、今回の受章につながりました。

受章について山本さんは、「このような章をもらえて驚いています。この受章は家族あつてのものなので、みんなに感謝しています」と喜びの言葉を述べました。

なお、消防団においての多年にわたる功績により、元愛南町消防団西海方面隊長の菅原千代郎さん(武者泊)も、同じく瑞宝単光章を受章しました。



▲二場健児危機管理専門官(右)と服部真之介松山駐屯地司令

「陸上自衛隊松山駐屯地司令感謝状贈呈式」が行われ、陸上自衛隊の服部真之介松山駐屯地司令から二場健児危機管理専門官(愛南町職員)へ感謝状が贈られました。

この感謝状は、松山駐屯地創立65周年を記念し、自衛隊の活動や訓練などに協力した方に贈られています。

感謝状を受け取った二場さんは、「感謝状を頂き、驚きと同時に大変光栄です。町民と自衛隊の懸け橋としてがんばりたい」と話しました。

二場危機管理専門官が陸上自衛隊から感謝状

11/27

11/28

## 小学生が篠山について 学びながら登頂

篠山でワクワク体験教室「篠山の自然を楽しもう」が行われ、町内の小学生13人が参加しました。

道中では、環境省職員から出題される篠山に関するクイズに挑戦しながら、自生する植物や山道の歩き方などについて学び、約1時間かけて登頂しました。

参加した城辺小5年生の高田心優さんは、「山を登る時は大変だったけど、みんなが仲良く頂上まで行けて良かった」と話しました。



▲樹木の切り株からクイズを出題する環境省職員

12/2

## 会員の剪定技術の向上 を目的とした講習会

愛南町シルバー人材センター会員の剪定技術向上を目的に、御荘老人福祉センターで「剪定講習会(愛媛県シルバー人材センター連合会主催)」が行われ、会員12人が参加しました。

講習会では、剪定の仕方や剪定を行うことで得られる効果などについて学びました。参加した愛南町シルバー人材センターの弘瀬八重美理事長は、「講習会で学んだことを生かして、安全第一でがんばりたい」と話しました。



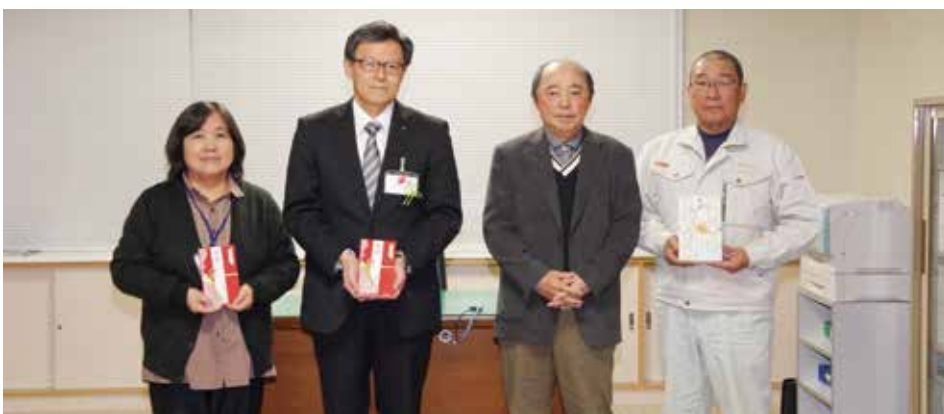
▲剪定の動画を見て、作業方法について学ぶ会員

12/2

## チャリティーゴルフで社会貢献 有志が保育所等に寄付

11月15日(日)に、四万十カントリークラブで開かれた「第24回一本松チャリティーゴルフコンペ」(同実行委員会主催)の参加者有志や協賛企業から募った寄付金等の贈呈式が、愛南町役場本庁教育長室であり、大会実行委員長を務める前田仁さんから町教育委員会や町内保育所、ありんこくらの各代表者に対して目録の贈呈が行われました。

このチャリティーは、ゴルフを通じて社会貢献をしたいとの思いで毎年行われているもので、集まった寄付金は障がい児者の親の会の活動や、町内の子どもたちが読む本・保育資材などの購入費用に充てられます。また今大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3密を避けて表彰式や懇親会などは行わずに開催されました。



▲左から 木村八代美 城辺保育所長、中村維伯 教育長、前田仁 大会実行委員長、宮崎和友 ありんこくらぶ会長

かったが、コロナが終息したら、寄付金を活用して研修会やキャンプ、催しなどに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



愛媛CATV  
動画







▲DE・あ・い・21を彩ったイルミネーション

DE・あ・い・21をイルミネーションで彩った「パールイルミネーション」(うちうみまちづくり連合Yomoshi連内海主催)が令和2年12月12日(土)から1月13日(水)まで開催されました。期間中はイルミネーションの点灯だけでなく、館内にライトアップしたシーボーンアート展示もされました。また開催初日には、館内でXmasスノーペットボトル作り教室があり、内海地区の児童9人が参加しました。

12/12



愛媛CATV  
動画



▲ブロッコリーの出来を確かめる農業関係者

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年11月頃に行われる予定だった野菜品評会の代替策として、JAえひめ南南宇和選果場で、「ブロッコリー目揃え・品評会」(JAえひめ南南宇和野菜部会主催)が開催され、出品した生産者22人や農業関係者など計30人が参加しました。同部会では、年々ブロッコリーの栽培面積を拡大している多品種構成で収穫分散を行い、長期間出荷できる体制づくりを行っています。

12/15

## ブロッコリー目揃え・品評会



▲写真の撮り方のコツなどを紹介した講師の曾我部一美さん

「チラシ&パンフレット作成セミナー」(町商工観光課主催)が役場本庁であり、町内の事業者ら15人が参加しました。このセミナーは、愛南町の観光を担う人材の育成や事業者の経営能力向上を目的に全5回の日程で開催された研修の最終回として実施され、今回はフリーライターで執筆活動などを行っているAnahitaの曾我部一美さんを講師に招いて講演が行われました。

12/17

## 効果的なチラシやパンフレット作成のコツを 専門家が町内事業者らに伝授

パンフレット作成のコツを参加者に紹介しました。商品が良くてもその魅力が消費者に伝わらなければ売れ行きが伸びないことを指摘した曾我部さんは、売る側ではなく消費者の視点で商品を客観視することの重要性を強調し、「商品の良さを整理し、販売するターゲットを明確化した上でより魅力が伝わるチラシやパンフレットを作成してほしい」と参加者に呼び掛けました。具体的な実践方法として、広告媒体に用いる写真を撮影する際は主で伝えたいものをアップで撮ることや、自然光下で撮影して色味を良くすると商品の魅力が伝わりやすくなることなどを紹介し、「写真や印象的なコピー、イラストなどでインパクトを持たせて、ストレートで分かりやすく伝えるべき。今は個人でもSNSで多くの方に情報を発信できるので、必要な情報が入った小さいチラシを作って、デジタル面で訴求するなど、工夫してほしい」と話しました。

12/  
19

## 園児と保護者が楽しんだクリスマス会

長崎保育所で「生活発表会とクリスマス会」が行われ、全園児9人が参加しました。

生活発表会では、園児が人気アニメの曲に合わせた踊りやサンタクロースとトナカイの劇などを披露し、保護者から拍手が送られていました。

クリスマス会では、職員や保護者も参加し、「ねえ、サンタクロースのおじいさん」という曲の合唱や「ジングルベル」の楽器演奏、親子でのフォークダンスなどを行い、会を楽しみました。



▲サンタクロースからプレゼントを渡される園児

12/  
19

## 御荘夢創造館で恒例のクリスマス会

御荘夢創造館でクリスマス会があり、町内の小学生30人と、ボランティアの御荘中学生11人が参加し、クリスマス写真フレーム作りやレクリエーションを楽しみました。

また、中学生ボランティアによるダンスやコントの出し物もあり、会場を盛り上げました。

コロナ禍での開催のため参加人数の制限を行い、歌や触れ合う活動はできませんでしたが、笑顔あふれる楽しいクリスマス会になりました。



▲クリスマス会のステージで出し物を披露する御荘中の生徒

## 子どもインフルエンザ予防接種費用 償還払い

★やむを得ず、町外の医療機関で接種された方に対し、償還払いします。

## [対象者、接種回数]

- ・愛南町に住所がある6カ月～12歳の方 2回
- ・愛南町に住所がある13歳～18歳の方 1回

## [接種期間]

令和2年10月1日～令和3年1月31日

## [補助金額]

上限：1回4,100円

## [申請期限]

令和3年4月30日(金)

## [必要なもの]

- ・印鑑
- ・振込口座通帳
- ・領収書原本（インフルエンザと記載してあるもの）

## [申請場所、問い合わせ先]

愛南町役場(本庁)保健福祉課 電話：72-1212

